第 69 回学友会総会

議　案　書

2023 年 11 月 1 日（水）

場所 ：講堂/開場時刻 16 時 45 分

開会時刻 17 時 15 分

学友会執行委員会

～目次～

Ⅰ. 議案

1. 令和 4 年度決算報告
2. 令和 5 年度予算最終案
3. オリエンテーリング同好会 学友会公認取り消し議案
4. アドバンテージテニスチーム(ATT) 学友会準公認格下げ議案
5. UECeSports 学友会公認願い
6. 漢詩俳句同好会 学友会準公認願い
7. フリスビーサークル 学友会準公認願い
8. team411 Lab 学友会準公認願い
9. UEC かるたの会 学友会準公認願い
10. Urban Bee Club サークル 学友会準公認願い

2023 年 11 月 1 日　学友会執行委員会

正副執行委員長選挙

以下の通り立候補がありました。

執行委員長　（定員 1 名）

情報理工学域 Ⅰ類 2 年 経営・社会情報学プログラム

[redacted]

執行副委員長 （定員 2 名）

情報理工学域 Ⅰ類 1 年 [redacted]

情報理工学域 Ⅲ類 1 年 [redacted]

立候補者数が定員数と一致していますので、
本日行われる第 69 回学友会総会にて信任投票を行います。

議案名

令和４年度決算報告

提出者

会計委員会 決算担当

情報理工学域Ⅱ類

２年 [redacted]

本文

令和４年度決算報告を別冊「令和４年度決算報告」に示すとおり
提出します。

議案名

令和５年度予算最終案

提出者

会計委員会 予算作成担当

情報理工学域 Ⅰ類
２年 [redacted]

本文

令和５年度予算案を別冊「令和５年度予算最終案」に示すとおり
提出します。

1. 議案名

   オリエンテーリング同好会 学友会公認取り消し議案

2. 提出者

   情報理工学域Ⅰ類コンピュータサイエンスプログラム2年

   [redacted](現会計委員長)

3. 主旨

   電気通信大学学友会会則のサークルに関する細則の第2章の第5条に基づき、学友会公認サークル「オリエンテーリング同好会」の学友会公認を取り消すもの。

4. 提出理由

   会計委員会に提出しなければならない書類である「令和5年度サークル連絡先記入書」「令和4年度活動内容報告書」および「令和4年度部員名簿」が提出されておらず、学友会会則のサークルに関する細則の第2章の第5条2のii「本会の各機関及びサークル代表者会議指定の提出物を提出していない」に該当するため。

5. 経緯

   「令和5年度サークル連絡先記入書」「令和4年度活動内容報告書」および「令和4年度サークル部員名簿」を令和4年度第3回サークル代表者会議において配布した。これらの書類は令和5年5月19日を期限に提出することとなっていたが提出されず、メールを用いて提出を促した。しかし当該サークルから書類提出や提出遅れの連絡はなく、本議案の提出に至った。

1. 議案名

   アドバンテージテニスチーム(ATT) 学友会準公認格下げ議案

2. 提出者

   情報理工学域 I 類コンピュータサイエンスプログラム 2 年

   [redacted](現会計委員長)

3. 主旨

   電気通信大学学友会会則のサークルに関する細則の第 2 章の 5 条の 2 に基づき、学友会公認サークル「アドバンテージテニスチーム(ATT)」の学友会準公認格下げを行うもの。

4. 提出理由

   会計委員会に提出された「令和 4 年度部員名簿」に基づき学友会員数の確認を行ったところ、学友会会則のサークルに関する細則の第 2 章の第 5 条の 2「サークル構成員に学友会員が 5 人以上在籍していない場合」に該当するため。

5. 経緯

   令和 4 年度第 3 回サークル代表者会議において配布し、令和 5 年 5 月 19 日を期限に提出された「令和 4 年度部員名簿」にて学友会員数の確認を行ったところ、令和 5 年 3 月 31 日時点では学友会会則に定められている基準を満たしていなかった。

   そのため、サークル援助金監査およびその報告が完了した後に、令和 5 年度第 1 回サークル代表者会議で配布した「「サークル準公認格下げの条件」に基づく調査について」に沿って、メールおよびサークルポストを用いて準公認格下げの可能性があるため会計委員会室にて学友会員の人数確認後に再度部員名簿を提出し、学友会員の人数を確認する旨を通知した。しかし、再度提出すべき部員名簿が提出されず、本議案の提出に至った。

情報理工学３年
Ⅰ類
メディア情報学プログラム
学籍番号[redacted]

UECeSports 学友会公認願い

1. 主旨

UECeSports サークルの学友会公認申請。

2. 提出理由

近年、eSports の人気が世界的に高まっており、日本でも大会が行われるようになった。普及等の観点から、大学生、高校生を対象とした学生大会も開かれるようになってきた。それらの大会において、電通大の代表として出場したく思い、提出した。また、電通大の学生へ向けた eSports の宣伝活動にも取り組みたいため。

3. 構成員

構成員 10 名(学友会員数 5 名)

名前	学年	学籍番号	類/プログラム(コース)	役職	学友会員
[redacted]	学域３年	[redacted]	Ⅰ類メディア情報学プログラム	代表	○
[redacted]	学域１年	[redacted]	Ⅰ類		×
[redacted]	学域３年	[redacted]	Ⅰ類コンピュータサイエンスプログラム		○
[redacted]	学域３年	[redacted]	Ⅲ類物理光学プログラム		×
[redacted]	学域２年	[redacted]	Ⅲ類物理光学プログラム		○

[redacted]	学域２年	[redacted]	Ⅰ類		×
[redacted]	学域４年	[redacted]	Ⅱ類セキュリティ情報学プログラム		×
[redacted]	学域３年	[redacted]	Ⅰ類情報数理工学プログラム		×
[redacted]	学域３年	[redacted]	Ⅲ類光工学プログラム		○
[redacted]	学域４年	[redacted]	Ⅲ類光工学プログラム		○

4. 活動内容

サークルにはゲームタイトルごとに部門として独立した活動を行っている。各部門ごとに指定曜日を設け、大会への練習や、部内戦を行っている。また、メンバーの発案で任意の曜日に自由に集まって自主的に活動を行っている。活動は自宅のパソコンから行っている。また、年に数回メンバーで集まって食事会を行う。
調布祭では対面での eSports 体験会、オンラインでのゲーム配信を行ってきた。

5. 活動実績

時期	内容	備考
2019/6	Heisei College Cup 2019(League of Legends 部門)	初戦敗退
2019/9	Japan Collegiate Championship 2019 (League of Legends 部門)	ベスト 6
2020/6	League of Legends 大学	準決勝出場

	対抗交流戦 Season1	
2021/3	LeagueU Spring Challenge Cup 2021 (League of Legends 部門)	予選敗退
2021/9	Japan Collegiate Championship 2021 (Valorant 部門)	予選敗退
2022/2	4th LOL Radical Open	予選敗退
2022/2	LeagueU Sprint Circle Cup 2022 (League of Legends 部門)	予選敗退
2022/2	LeagueU Sprint Circle Cup 2022 (Valorant 部門)	予選敗退
2022/5	UECeSports 準公認願い 可決	
2022/6	K.G-Championship Vol.2	予選敗退

6. これからの活動計画

今後は、大会へ向けた練習だけではなく、電通大の学生の皆さんが eSports に興味を持ってもらえるよう、宣伝等も行っていく。調布祭では初心者向けの eSports 体験会に加えサークルメンバーとの対戦なども開催する予定である。学内向けのオンライン大会の主催なども計画している。現在のところ、部室と予算は申請する予定はない。

情報理工学域 1 年
Ⅲ類
学籍番号 [redacted]

漢詩俳句同好会学友会準公認願い

1. 主旨

「漢詩俳句同好会」を学友会準公認として許可をいただく申請書。

2. 提出理由

準公認サークルになり漢詩及び俳句の大会に電気通信大学の代表の団体として出場をしたいから。
また、本団体の規模拡大のために電気通信大学の学生への宣伝活動に取り組みたいから。

3. 構成員

構成員 15 名(学友会員数 7 名)

名前	学年	学籍番号	類/プログラム(コース)	役職	学友会員
[redacted]	1	[redacted]	Ⅲ類	代表 兼外務	○
[redacted]	1	[redacted]	Ⅲ類/機械システムプログラム	会計	○
[redacted]	1	[redacted]	Ⅲ類	総務	×
[redacted]	1	[redacted]	Ⅱ類		×
[redacted]	1	[redacted]	Ⅱ類		○
[redacted]	1	[redacted]	Ⅲ類		×
[redacted]	1	[redacted]	Ⅲ類		×
[redacted]	1	[redacted]	Ⅲ類/電子工学プログラム		○
[redacted]	1	[redacted]	Ⅲ類	広報	×
[redacted]	1	[redacted]	Ⅲ類		×
[redacted]	1	[redacted]	Ⅲ類	副代表	○
[redacted]	1	[redacted]	Ⅲ類		○
[redacted]	1	[redacted]	Ⅲ類	書記	×
[redacted]	1	[redacted]	Ⅲ類	企画	○
[redacted]	1	[redacted]	Ⅲ類		×

4. 活動内容

「漢詩俳句同好会」は漢詩及び俳句の知識共有と創作活動をする場としての活用を目的として設立され、知識の有無に関わらず漢詩または俳句に興味関心がある学生で構成されている。
毎週水曜日(夏休み期間を除く)に電気通信大学図書館に集まって主に以下の活動を行っている。

・漢詩、俳句の創作
・漢詩、俳句に関する知識共有
・名作の漢詩の講評
・漢詩、俳句大会への作品の出展

5. 活動報告

時期	内容	備考
2023 6/1	「漢詩俳句同好会」設立	
2023 6/7	・活動方針決め ・役職決め ・漢詩及び俳句のルールの解説	
2023 6/14	・「楓橋夜泊」の講評 ・漢詩の創作 ・俳句の創作	
2023 6/18	・詩語表購入	
2023 6/21	・「春夜」の講評 ・詩語表の使い方の学習 ・漢詩の創作	
2023 6/28	・大会受賞作品の講評の閲覧 ・漢詩の創作 ・俳句の創作	
2023 7/5	・「黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る」の講評 ・漢詩の創作	
2023 7/12	・大会に提出する漢詩作品の創作	
2023 7/27	・「第 15 回諸橋徹次博士記念漢詩大会 学生の部」に全 10 作品を応募	本団体に所属している村山南斗が優秀賞、山田瀬戸が奨励賞を受賞
2023 9/21 ~ 2023 9/22	・岐阜、愛知で合宿	

備考として本団体に所属している横尾裕介は「第 1 4 回諸橋徹次博士記念漢詩大会 学生の部 優秀賞」、「令和 4 年度全日本漢詩大会 U18 奨励賞優秀賞」の受賞歴がある。

6. これからの活動計画

毎週水曜日に集まり漢詩、俳句の大会への入賞を目標とした創作活動を行う。
今後は「扶桑風韻漢詩大会」、「漱石記念漢詩大会」、「伊藤園お〜いお茶新俳句大賞」への入賞を目指した漢詩及び俳句創作活動を行う。
また、本団体の金銭のやりとりは作品を応募する際に発生する少額の応募代と送料が主であり、応募する個人の出費と会費のみで十分まかなえるため、支援金は必要ないと考えている。
加えて、将来的には部室を借りることを考慮に入れている。
サークルの人数が多く集まれる場所が限られているため定期的に集まれる場所として活用したい。
そして漢詩また俳句の大会に応募するに際して必要な書類や創作に必要な詩語表、漢和辞書、文献などを管理する場所としての利用を考えている。

情報理工学域２年
Ⅱ類
先端ロボティクスプログラム
学籍番号[redacted]
[redacted]

フリスビーサークル学友会準公認願い

1. 主旨

フリスビーサークルが学友会準公認団体になることを目的としたもの。

2. 提出理由

カナダの大学に語学留学に行った際、フリスビーを通じて多くの国際交流を行った。フリスビーはコミュニケーションとして良いツールであり、より多くの人の参加を願ったため。

3. 構成員

構成員５名(学友会員数５名)

名前	学年	学籍番号	類/プログラム(コース)	役職	学友会員
辻 祥佑	2	[redacted]	Ⅱ類/先端ロボティクスプログラム	代表	○
玉森 陽菜	2	[redacted]	Ⅰ類/経営・社会情報学プログラム	会計	○
筒井 雄大	4	[redacted]	Ⅲ類/機械システムプログラム		○
久保 大翔	2	[redacted]	Ⅱ類/電子情報学プログラム		○
高村 大成	2	[redacted]	Ⅱ類/計測・制御システムプログラム		○

4. 活動内容

現在は、安全上フリスビーをすることが可能な公園などで月に 1,2 回ほど集まってフリスビーをしている。

5. 活動実績

時期	内容	備考
年/月	(活動内容)	(結果等あれば)
2023/9	団体設立	

6. これからの活動計画

フリスビーというスポーツを通じて、肉体的、精神的にスポーツマンシップを学んでいき、コミュニケーションを図っていく。また、インカレサークルとして、電通大のみのコミュニティとせず、幅広い視座を持った団体としていく。規模が大きくなれば、公式大会の参加なども視野に入れている。
サークル助成金を申請する予定はない。
部室の希望もない。

情報理工学域 1 年
Ⅲ類
機械システムプログラム
学籍番号 [redacted]
[redacted]

team411 Lab 学友会準公認願い

1. 主旨

team411 Lab の学友会準公認申請

2. 提出理由

ベンチャー工房帰属の team411 の配下に研究、教育を目的とした学友会所属の team411 Lab を設立することになりました。
team411 では”大学生活と社会の「もやもや」を解決する、IT ソリューションチーム”を目標に活動していますが、team411 Lab では team411 を支える教育研究部門として活動します。team411 Lab は学友会に所属することで、team411 自体の知名度向上を図り、学友会のシステムを利用することで活動を活発にしたいと考えています。

3. 構成員

構成員 9 名(学友会員数 5 名)

名前	学年	学籍番号	類/プログラム(コース)	役職	学友会員
[redacted]	1	[redacted]	Ⅲ類/機械システムプログラム	代表	○
[redacted]	1	[redacted]	Ⅰ類	会計	○

[redacted]	4	[redacted]	Ⅰ類/コンピュータサイエンス		×
[redacted]	2	[redacted]	Ⅰ類		○
[redacted]	1	[redacted]	Ⅰ類		×
[redacted]	2	[redacted]	Ⅰ類		×
[redacted]	1	[redacted]	Ⅰ類		×
[redacted]	1	[redacted]	Ⅲ類		○
[redacted]	1	[redacted]	Ⅲ類		○

4. 活動内容

team411 では、プロダクト開発、教育、および研究開発を幅広く展開しています。その中でも、team411 Lab では教育と研究開発を中心に活動します。具体的には、プログラミングの基礎から、プロジェクト開発に必要なツールの使用方法、そしてサーバーの構築などを行います。

5. 活動実績

時期	内容	備考
22/8	team411 設立	ベンチャー工房帰属
22/8	UECircle の開発	
23/4	UECircle 提供開始	
23/5	新入生研修	
23/6	部内コンテスト	
23/7	U.E.C.wings プロダクト提案	
23/9	UPoC に参加	企業賞 2 つ受賞
23/10	team411 Lab 設立	team411 役員会議で決定

6. これからの活動計画

今後は来年 6 月の UPoC に向けて新入生の教育を進めます。

部室の割り当て、援助金を希望します。

情報理工学域２年
Ⅱ類
計測・制御プログラム
学籍番号[redacted]
[redacted]

UEC かるたの会　準公認願い

1. 主旨

UEC かるたの会の準公認を求める申請

2. 提出理由

　かるたを通じて親睦を深め、また古典的文化に触れることで教養を身に着けることを目指しています。今後、大学施設を利用できるようになるためや公認団体になるために準公認を申請することといたしました。

3. 構成員

構成員５名(学友会員数５名)

名前	学年	学籍番号	類/プログラム(コース)	役職	学友会員
[redacted]	2	[redacted]	Ⅱ類/計測・制御プログラム	代表	○
[redacted]	3	[redacted]	Ⅰ類/情報数理工学プログラム		○
[redacted]	2	[redacted]	Ⅱ類/先端ロボティクスプログラム		○
[redacted]	2	[redacted]	Ⅰ類/コンピューターサイエンスプログラム		○
[redacted]	1	[redacted]	Ⅱ類		○

4. 活動内容

百人一首を用いた遊戯性や競技性のあるカルタを行うこと。またかるたの札を覚えたり意味を理解したり教養を深めること。それらの活動を通して親睦を深めること。

5. 活動実績

時期	内容	備考
2023/4	弊会を結成	
2023/5	新入生歓迎会を実施	調布市文化会館たづくりにて実施
2023/8	新入生歓迎会兼練習会を実施	調布市文化会館たづくりにて実施

6. これからの活動計画

不定期の練習会を実施予定です。場所は主に調布市文化会館たづくりの和室を予定しています。遊戯性のある散らしや競技かるたも取り組んでいこうと考えています。公認団体になった際は部室と援助金の申請をしようと考えています。部室の使用用途はおもにかるたの練習です。援助金はかるたの札の購入に充てたいと考えています。

情報理工学域３年
Ｉ類
学籍番号[redacted]
[redacted]

Urban Bee Club サークル学友会準公認願い

1. 主旨

Urban Bee Club サークルの学友会準公認の申請のため

2. 提出理由

Ｉ専攻佐藤研究室により IoT･AI 技術を活用したスマート養蜂の研究が学外で進められており，その過程で本館屋上に研究室管理の養蜂施設を設置した．オープンキャンパスでの研究紹介を通じて学内に興味を持つ学生が増え，サークルとして精力的に活動するため準公認願いを提出することとなった．

3. 構成員

構成員 6 名(学友会員数 5 名)

名前	学年	学籍番号	類/プログラム(コース)	役職	学友会員
[redacted]	3	[redacted]	Ｉ類/経営社会・情報学プログラム	代表	○
[redacted]	3	[redacted]	Ｉ類/経営社会・情報学プログラム	会計	○
[redacted]	3	[redacted]	II 類/情報通信プログラム		○
[redacted]	3	[redacted]	II 類/電子情報学プログラム		×
[redacted]	3	[redacted]	III 類/物理工学プログラム		○
[redacted]	4	[redacted]	Ｉ類/ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｻｲｴﾝｽﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ		○

4. 活動内容

AI・IoT 技術を活用したスマート都市養蜂の実施．子供達へのミツバチ教室や対外発表．学外の養蜂活動団体との交流．採取したハチミツの加工商品の開発と販売等．活動場所は本館屋上．養蜂活動を行う上での管理・賠償責任は研究室が負うこととなっている．

5. 活動実績

時期	内容	備考
23年7月	本館屋上に養蜂施設を設置．	市内の子供達を対象に採蜜会を開催．
23年8月	ミツバチサミット 2023 にエントリー．	活動紹介ビデオを作成．11 月発表予定．
23年8-9月	地元養蜂家の勉強会に参加し，TBS 本社や銀座の養蜂施設でボランティアとして活動	書籍等だけでなく実体験を通じて養蜂の知識を習得．洋菓子店とハチミツの商品化を検討中．

6. これからの活動計画

地元の養蜂家や ICU の養蜂サークルとも交流しながら，これから一年を通じて下記の活動を行う．

10 月 新たな蜂群を本館屋上に移設．調布第一小学校での授業．

11 月　全国学生養蜂サミット 2023 発表．サークルの Web ページやインスタ等の開設．

11~2 月　蜂の飼育と越冬作業．

3~5 月　新歓，勉強会・体験会，採蜜，新女王バチ飼育，小学校での授業．

6~10 月　ダニ対策，飼育．商品開発．

立ち上げ時の様々な養蜂機材やミツバチ，毎年の巣脾，給餌用花粉，ダニ対策薬剤などの消耗費の購入で補助を受けたい．また，継箱や採蜜用遠心分離機など大型機材の保管に部室も希望．